

特別支援教室だより

令和7年 6月 吉日
巡回拠点大杉東小学校
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、一昨年お伝えした「児童のいろいろな困り」に対して、新たな視点での支援方法・手立てなど、巡回指導教員が考えた内容を掲載いたします。

【 今回のテーマ 】



「聞く」ことが苦手な子



【 こんなことが考えられます 】

学習には、聞く・見る・話す・読む力が必要であり、それぞれに対して得意や苦手と思う子供たちがいます。聞くことが苦手と感じるお子さんの中には、聞いて理解することが苦手、周りの様子が気になって聞くことに注意が向きにくい、聞いた情報を記憶に留めておくことが苦手など、苦手にも様々な種類があります。

【 できることはなんでしょう 】

【ポイント！】得意について知る！

「聞くのが苦手」でも、お子さんによって「これは得意！」と覚えることもたくさんあります。それぞれの得意を知り、その力を活かして苦手をカバーできるような支援方法を考えていきます。

・聞いて内容を理解することが苦手⇒見て理解するのは得意！

聞いて内容を理解することが苦手でも、目で見て理解できることがあります。その場合、指示や話の内容を端的な言葉で表したり、内容を図に表してあげたりと視覚的に提示してあげると効果的です。

・聞いた情報を記憶に留めておくことが苦手⇒見たら思い出せる！

聞いた情報を記憶に留めておくことが苦手なお子さんの場合、目で見ることによって思い出せる場合があるので、メモを取りながら聞くようにさせると良いです。また、「もう一度言ってください。」など援助申請の言葉を伝えることも大切です。

・周りの様子が気になって注意が向きにくい⇒注意が向けられれば一点集中！

周りの様子が気になって注意が向きにくいお子さんは、きっかけがあれば注意を向けられる場合があるので、合図を作ってあげると良いかもしれません。「今から話すから、最後まで聞いてね。」など、お子さんが注意を向けるきっかけを作ってから話し始めてみてください。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら

